

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	○重度化や終末期にむけた方針の共有と支援 コロナ禍でご家族と面会が行えない状況のなか、入居者の重度化が進んでいる。入居者の皆さんの心身の状態はその都度ご家族と共有しているが、さらにご本人やご家族の思いをうかがい援助に活かす必要がある。	重度化がすすんだりターミナル期でもご本人やご家族の意向に沿いながら、関係者と共に支援を行うことができる。	・サービス担当者会議の際に看取り、急変時や重度化の際の意向確認を行っており、それを継続する。 ・ターミナルケアについての職員学習を継続。主治医や作業療法士と連携して学習を行う。 ・家族懇談会やそれにかわる方法で、ご家族との意見を交換できる場をつくる。	12ヶ月
2	45	○入浴を楽しむことができる支援 グループホームの浴室は手狭な家庭浴槽で、車椅子利用の方がシャワーチェアへ移乗したり浴槽につかることが難しい。	施設内の設備を活用することで、重度化しても入浴を安全に楽しめることができる。	・デイサービスのリフト浴も利用する。安全に操作できるように順次操作方法や掃除方法の伝達学習を行う。 ・週間予定やタイムテーブルの精査を行い、グループホームの2ユニットで協同して入浴やそのほかの支援を行いやすくする。 ・施設全体での合同学習会を開催するなど他部署との協同作業を通じて、部署間の連携がスムーズに行えるような関係作りを行う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。